

懐かしの Photograph

盛岡写真今昔物語

普段見慣れた街の姿も、時の流れの中で少しずつ、時には大きく変化してきました。心の奥に残っている、昔の街の姿を懐かしみながら、変化し続ける盛岡の街をご覧ください。



昭和58年の中ノ橋通1丁目

紺屋町から茸手町へ出る通りは愛染横丁と呼ばれています。

(写真提供：藤村政道氏)



現在の中ノ橋通1丁目

現在は石畳風の舗道に整備。写真の奥の通り「茸手町」には色んなお店が並んでいます。